総合戦略チャレンジ事業一覧

資料３

基本目標１　担い手の発掘・育成と新たな働き方の実現
- ➢ 市内の企業や事業所などに向けた副業の有効性などの周知、啓発
- ➢ 福岡都市圏に向けた「週末副業」の情報発信

基本目標２　産業間・産学金官連携などによる地域経済の活性化
- ➢ 学生起業支援制度の新設

基本目標３　市内受発注の促進による市内消費の拡大
- ➢ “なんでも糸島”の購買運動の展開

基本目標	No	地域再生計画	事業名	事業概要	R7実績・進捗・評価等	過去の実績等
基本目標1	1	○	副業人材活用伴走支援事業	市内の商工業者が持つ課題や、新たに取り組みたいプロジェクト等を、専門的な知見・経験を持つ副業人材と結び付け、市内事業者の課題解決や発展を支援する。 ・個別ヒアリング等により課題等を抽出し、「副業人材」の属性を明確にする。 ・国内の副業人材活用プラットフォームを活用して、プロジェクトキックオフから完了まで切れ目なく伴走支援を行う。 （求人票の作成、応募、選考、業務委託契約の中身、マッチング等）	・支援事業者選定数:10社 ・上記の支援事業者において、業務効率化や販売拡大、経営戦略の見直し、人材確保など多様な成果が見られた。 ・今後新たな事業者への展開と成功事例の共有を通じて活用促進へとつなげる。	・支援事業者選定数　R6：10社
	2	○	経営強化専門家活用事業	経営基盤の強化に専門家を活用する商工業者を、委託等の費用の一部を補助することで支援する。 ●補助対象　①専門家を活用した国・県等の補助金や助成金の申請 ②専門家を活用した事業継続力強化計画（BCP）の策定 ③プロフェッショナル人材を活用した経営課題の解決 ●補助対象者：糸島市内で商工業を営む中小企業者 ●補助率：補助対象経費の３分の２以内（千円未満切り捨て） ●補助上限額：10万円	・①7件（交付総額497,000円）、②０件、③０件 ・国県等の補助制度は、煩雑な作業を要することから、当事業を活用することで、申請のハードルが下がるメリットがある。 ・市内には中小企業が多いため、必要性を感じていない事業者やBCPの策定まで余力がないことが考えられる。 ・今後は、BCPの重要性について事業者への丁寧な意識啓発を進めていく。	・R4　①12件（交付総額573,000円） ・R5　①16件（交付総額893,000円） ・R6　①２件（交付総額99,000円）、②０件、③０件
	3	○	糸島しごとさがしサイト機能強化事業	糸島しごとさがしサイトの機能を強化し、求人情報の登録数とサイトの利用者数を増やし、市内事業者の人材確保への支援を強化する。 ①セキュリティ強化…ＳＳＬ化（httpをhttpsに）・・・令和７年度 ②機能追加…絞込検索と並び替えの機能を追加・・・・令和６年度 ③項目追加…就業体験とスポット雇用の項目を追加・・令和６年度	・就職支援サイトの登録企業数　175件 就職支援サイトの登録求職者数　140人 ・事業者への個別アプローチ及び企業情報の発信により、サイトの利用促進を図る。	・登録企業数　R1：124社　R2：126社　R3：131社 R4：138社　R5：155社　R6：170社 ・登録求職数　R1:133人　R2：118人　R3：98人 R4：119人　R5：128人　R6：141人
基本目標2	4	○	学生アイデア社会実装補助事業（協定締結大学等連携事業）	本市が抱える地域課題や行政課題等を研究する協定大学等の学生に、市が研究費用を補助する。 ●補助対象者：市と連携協定を締結している大学等の学生 （大学生・大学院生・短期大学生・専門学校生） ●補助対象経費：報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、原材料費、その他市長が必要と認める経費 ●補助率：補助対象経費の10／10	・採択件数:５件　（申請件数６件） ・いずれの研究も、本市をフィールドに学生が地域と関わりながら研究を行ったことで、地域課題解決や地域資源の活用への可能性ができる研究成果であった。 ・次年度は、実施件数のみならず、研究を実装できるようにより丁寧な伴走支援を行っていく。	・R6：３件　（申請件数７件）
	5	○	大学生等インターンシップ事業	・民間委託を行い、受託業者は大学生等及び企業等をそれぞれ募集し、各ニーズを把握した上でマッチングする。 ・受託業者はコーディネーターを配置し、大学生や企業等の相談や双方の調整を行い、インターンの効果が上がるよう、プログラム作成や面談の実施等を行う。 ・コーディネーターは、大学生等に対して糸島で働くこと・暮らすことの魅力を伝え、企業等への就職や企業等が委託契約できる関係性づくりを支援する。	・企業10社、学生21人、マッチング10件 ・前年度事例紹介パンフレット作成、企業ごとの求人票のデザイン作成、成果発表会の実施などを行い、目標を上回る学生が参加した。受け入れ企業から「実際に成果が出た」と高く評価され、来年度も事業を継続してほしいという企業もあった。 ・受託事業者は、過去に参加した企業や学生との関係を維持しており、そのコミュニティを基盤として、令和8年度から受託業者の自走予定である。	・R6年度 企業:４社 学生:５人 マッチング:４件
	6	－	起業家人材育成支援検証事業	本市が進める「糸島市九州大学国際村構想」と「糸島サイエンス・ヴィレッジ構想」をつなげ発展させるために、市内で新たな価値やビジョンを創造できる人材及びイノベーションの担い手になるチャレンジ精神を持った人材を育成するため、趣旨に沿った人材育成プログラムを実施する事業者等に事業費として補助金を支出する。 ●補助対象者：プログラムを提供する事業者等 ●プログラム受講対象者：国内外のビジネスパーソン、 九州大学の教職員・学生、糸島市民・市内事業者 ●条件：糸島市内もしくは九州大学伊都キャンパスで実施すること 九州大学の教職員・学生を講師または受講者として参加させること	・令和７年度は事業の効果検証を行うため経費は計上せず。 ・令和６年度に実施した研修は、参加者の満足度も高く、市内におけるアントレプレナー育成の土壌を形成し、機運を高めることができた。 ・糸島サイエンス・ヴィレッジをはじめとする地域資源や魅力的な環境を活かした研修コンテンツは、今後も多様な人材を惹きつける可能性がある。 ・市は、起業家人材育成のための環境整備や情報発信に注力する等、民間事業者の自主的な活動を支援する役割にシフトし、「糸島市九州大学国際村構想」や「糸島サイエンス・ヴィレッジ構想」等の長期的なまちづくりを通して民間主導でチャレンジ精神・起業家精神を持った人材を育成するための環境を整える役割を担うべきである。	R6　研修２件 ①地方創生+Career Workshop　　参加人数　16人 SVI構想をについて学び、多様な年齢層との交流を通じて、今後のキャリアや人生におけるヒントを得ることを目的とする研修 ②SVIまちづくり学校　参加人数　115人（リモート込） SVIの実現には生成AIを活用し急速な変化にも柔軟に対応できる、常に進化し続ける「生きた都市」の構築が必要であるという考えから、地域全体でまちづくりに参画できる体制を構築するために「生成ＡＩネイティブ人材」の育成を目指す研修
基本目標3	8	○	地域連携経済活性化補助事業	商工業者が集い取り組む消費喚起のイベントなどに補助金を交付する。 補助率：2/3、補助上限額：参加事業者数に応じて上限を設定する。 ①上限100万円（参加事業者数5～10） ②上限200万円（参加事業者数11～20） ③上限300万円（参加事業者数21以上）	・交付事業数：9事業、利用事業所数：計170業者、交付総額：9,997千円 ・糸島市商工会が小学校区単位での地区編成を行ったのに伴い、各地区や内部組織等への周知を強化して、活用を促す。	成果（交付事業数、利用事業数、交付金額） ・R3　３事業、計57事業者、総額6,343千円 ・R4　11事業、計161事業者、総額27,345千円 ・R5　７事業、計114事業者、総額7,501千円 ・R6　９事業、計126事業者、総額7,485千円
	7	－	プレミアム付商品券事業	市内在住者を対象に、プレミアム率30％の商品券を販売する。 「紙商品券」「電子商品券」「事業者向け商品券」（糸島市内に事業所を有する法人または個人事業主の仕入れや事業経費の支払が対象）	・紙:20,000冊、電子:30.000セット、事業者：10,000冊 ・電子－消費者向けアンケート調査結果（回答数981人） 普段の買い物より消費が増えると思う…65％ ・電子－取扱店舗向けアンケート調査結果（回答数58） 商品券発行事業は、消費喚起効果があった…46.6％	・R6　紙:30,000冊、電子:20,000セット、事業者:13,000冊 電子－消費者向けアンケート調査結果（回答数835人） 普段の買い物より消費が増えると思う…67.5％ 電子－取扱店舗向けアンケート調査結果（回答数100） 商品券発行事業は、消費喚起効果があった…58.0％